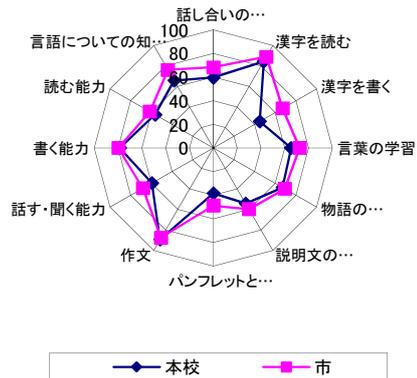


宇都宮市立新田小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	59.5	68.2
	漢字を読む	84.5	89.0
	漢字を書く	45.0	67.0
	言葉の学習	65.2	72.3
	物語の内容を読み取る	67.1	69.2
	説明文の内容を読み取る	54.3	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	38.3	48.9
	作文	89.4	87.8
観点別	話す・聞く能力	59.5	68.2
	書く能力	78.5	79.5
	読む能力	56.5	61.5
	言語についての知識・理解・技能	65.8	76.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、本校の平均正答率は8.7%下回った。 「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」設問では、市の平均正答率を5.0%下回った。 「司会者の役割を理解して、適切な言葉づかいで話す」設問では、市の平均正答率を11.8%下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら話の内容を聞いたり、適切な言葉づかいで話したりすることに課題があるといえる。 スピーチ活動などで、適切な言葉づかいで話し手が問題提示を行い、聞き手が話し手の意図を考えながら感想を言うような活動を多く取り入れるようにする。 学級活動などで話し合う活動を意識的に取り入れ、学級としての意思決定の場を設けるようにする。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、「漢字を読む」設問では4.5%下回り、「漢字を書く」設問では22.0%下回った。読む力よりも書く力の差が大きく開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も朝の学習の時間や家庭学習で継続して取り組めるように課題を作っていく。 自主学習で各自が自分に合った学習の形を見つけ、習熟が図れるように引き続き支援していく。 授業の中だけでなく日常生活の中で習った漢字を多く使って文章を書く機会を多く持つようにしていく。
言葉の学習	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、7.1%下回った。設問別には、「尊敬語の使い方」の正答率は宇都宮市の平均正答率よりも2.3%上回った。しかし、「三字の熟語の構成が分かる」の正答率は宇都宮市の平均正答率よりも25.4%下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の練習問題に多く取り組み、知識の定着を図る。 毎日の学校生活の言語環境を整え、日ごろから時と場、そして相手に合わせた礼儀正しい言葉づかいができるように指導する。
物語の内容を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、2.1%下回ったが、大きな差はないと考えられる。3つの設問別には、「登場人物の心情を読み取る」設問の正答率は宇都宮市の平均正答率より1.7%上回り、「登場人物の様子を読み取る」設問も2.4%上回った。しかし、「場面の情景を思い浮かべながら、登場人物の心情を読み取る」設問では、10.7%下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りを行う際、根拠となる言葉を明らかにするように指導を続ける。 心情の読み取りは、学級の中で伝え合い表現する場面を設定し、言語化することで読み取りの視野を広げられるようにする。
説明文の内容を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、5.5%下回った。「文章の内容を的確に読み取る」設問では、市の平均正答率より12.6%下回ったが、「文章の構成を的確に押さえながら読み取る」の設問では、0.5%しか下回っておらずほぼ同じである。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章に多く触れさせる機会をもち、小見出しを付けたり意味段落に分けたりつながりを考えたりしながら自分の考えを深めることができるように指導する。 言葉の意味を正しくとらえることができるように指導し、分からない言葉を辞書で調べる習慣が身に付くように支援する。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、10.6%下回っている。 設問別には、「資料と話し合いの内容を正しく読み取って考える」設問では、市の平均正答率を9.4%下回っているが、「資料と話し合いの内容を正しく読み取り、適切に文章を書き加える」設問では、11.8%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の中で、相手の意見を受け止めた上で自分の考えを伝えられるように指導する。 話し合いの中心をとらえて一つずつ考えていけるように、話し合い活動の流れを示し活用を図る。
作文	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べ、1.6%上回った。「指定された長さで文章を書く」設問では、市の平均正答率とほぼ同じであるが、「2段落構成で文章を書く」設問では、市の平均正答率を7.7%上回った。「自分の意見とその理由を区別して書く」設問では、市の平均正答率とほぼ同じである。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをはっきりさせながら作文を書く活動を多く取り入れ、定着を促す。 作文する際、構成を考えてから書き始めることを指導し、定着を図る。 文章を書く機会を増やし、段落によって内容のまとまりを表現する方法に慣れさせる。